

協働のまちづくり・ 町民が主体となったまちづくりを 目指して

平成 23年度 予算公表

一般会計24億4,480万円の予算を編成

平成23年度当初予算が3月定例議会にて可決されました。一般会計の予算総額は、24億4,480万円の前年度に對して1億4,900万円、5.7%の減額となりました。財源不足となる3,163万5千円は町の貯金である財政調整基金から繰り入れるため、予算の執行段階においても歳出の削減と歳入の確保に努め、財源不足の解消を図ります。

特別会計の予算総額は、3会計合わせて12億560万円の前年度に對して2,450万円、2.1%の増となりました。これは主に国民健康保険医療費の増加によるものです。公営企業会計である水道事業会計につきましては、下記のとおりです。

町の財政状況は、町税の伸びが見込めない一方で公債費は依然として高水準であり、社会保障関係経費の自然増などにより構造的に極めて厳しい状況にあります。そのため、経常的な経費の増加を抑えつつ投資的経費の内容検討を重ね、財政調整基金の取崩を最小限に抑え、自立可能な財政運営を考慮し予算の編成を行ったところです。新年度予算と主要な事業についてお知らせします。

歳入

歳入の主なものとしては、町税が固定資産税の減等により6億6,806万2千円で前年度比0.8%、約533万円の減となりました。地方交付税は前年度の実績等により1,000万円増の8億3,000万円を見込みました。この二つで全体の61.2%を占めています。

国県支出金は3億7,479万4千円で、中学校屋内運動場耐震改修事業の終了、緊急雇用創出事業の新規実施等合わせて4,206万3千円の減となりました。繰入金、財政調整基金からの繰入の増により、49.8%増の3,776万1千円、町債は、教育債の減により、臨時財政対策債のみの借り入れて2億です。

歳出

本年度の主要事業は、成田神崎線道路改良事業、並木郡根岸線道路改良事業等普通建設事業で1億3,822万8千円を計上しました。



武田古原線道路改良事業

その他の重点事業については、次ページの主な事業一覧のとおりです。なお、町債（借入金）の返済経費である公債費は、前年度比4.6%減の3億7,843万3千円を計上しました。町債の借入残高は平成22年度末で約26億9,580

()内は前年度比

特別会計			水道事業会計		
国民健康保険	7億5,200万円	5.3%	収益的	収入	1億5,848万4千円 - 0.2%
後期高齢者医療	5,500万円	- 15.6%		支出	1億4,287万 千円 - 0.8%
介護保険	3億9,860万円	- 0.7%	資本的	収入	1万1千円 0.0%
老人保健	0万円	皆減		支出	7,615万1千円 - 5.6%
合計	12億 560万円	2.1%			

給食センター会計は一般会計に統合しました。

万円、1.3%減となり、町民一人当たりになると約41万円となりました。また、国の補正予算等に伴う繰越事業については、町道本宿高崎前線舗装新設工事ははじめ14事業あり総額約3,903万6千円です。